

広報誌

# キッズ ふくしま インタガダ

第9号

2018年10月1日

(発行)

キッズふくしまインタガダ実行委員会  
(事務局)

〒943-0892

新潟県上越市寺町2-24-4

真宗大谷派高田教務所内

TEL:025-524-3913/FAX:025-524-2645

URL:<http://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>



# ホームステイを受け入れて

高田教区第八組 覺願寺

羽深 一浩

春に続き、今夏も「キッズふくしまサマーキャンプ」にたかだ2018」のホームステイを受け入れさせていただきました。

「開発」という大義名分を掲げた、偽りの「豊かさ」の中で起きた原発事故。その事故によって、いのちを脅かされ続けている人々が現にいるという事、その中で果たして自分に何ができるだろうかという思いがずっと私の中にありました。

そんな中、遅ればせながら私の手で挙げさせていただきました。三泊四日は、長いようで本当にあつという間に過ぎてしまいました。受け入れ前は、これをやるう、あそこにも行こうと色々計画を立てて臨んだことが、子ども達にとつては負担に

いのちは、それを愛そう、愛そうとする者のものであって、傷つけよう、傷つけようとする者のものではない

思うことも多々あると思います。何一つ満足のいくホームステイではなかったかもしれませんが、そんな中でも、何か一つでも思い出に残ることがあつて、また高田に来たいと感じてくれたら救われます。

福島の子ども達との出遇いを通して、忘れかけていた大切なことを気づかせていただきました。それは、今までの自分の尺度や価値観というものか思い込みであったこと、そして人間としての根源的な問いを持つて生きるということを確認させられたことです。

「ゴメンナサイ」から始まる保養事業ですが何一つ力になれていない私です。日々のちを脅かされ続ける現実がありながら「いのちを大切に」と語っている私達仏教徒の姿勢が、子ども達から問われているのだと、そんなことを感じさせていただきました。すべての関係者の皆様、有り難うございました。



## サマーキャンプ2018 7月28日～8月3日

### 池の平センター日程



2日目は池の平地内でのオリエンテーリング。チェックポイントを通過してセンターに到着。スイカの味が格別でした。



初日の夜はエビフライカレー



2日目夜は「満月さん」の  
手品とお話し



色々なゲームで仲良くなりました

### 1・2日目

# 各種遊びブース

天候にも恵まれ、一日思いきり水と戯れました。水鉄砲や水風船の大戦争、ペットボトルロケット、シャボン玉などで涼を感じることもできました。お昼は自分で作った竹の器で流しそうめんを堪能しました。また遊びのブースでは、手作り弓矢体験や皿回しなどにも人気がありました。夜は満天の星空の下で花火大会を行いました。一日中池の大自然を満喫することができました。





## 手作りピザ作り



池の平センター最終日は手作りピザ作り。みんなで協力して生地から練り上げ、お好みの具材をトッピング。少々不格好でもとてもおいしいオリジナルピザが出来上がりました。焼きあがったピザをお腹一杯食べてホームステイ先へと向かいました。

## キッズふくしまに参加して

新潟県立看護大学 中澤 里歩さん

私は今回初めてキッズふくしまに池の平青少年センターのスタッフとして参加させていただきました。初参加で不安もありましたが、のびのびと楽しんでいる子ども達と沢山遊び、私自身もとても楽しんで参加する事ができました。

大人になるにつれ、初対面の人と関係を作り思い切り遊ぶという機会は減少します。しかし、子ども達は年齢や性別関係なく、初めて会った人同士遊んでおり、子ども達の様子から学ぶことも多かった三泊四日になりました。

また、親元を一週間離れ友達と過ごす時間は子ども達にとってかけがえのない時間となり、大きな成長の機会となったと思います。

今年は記録的な猛暑となり、体調管理が難しかったという課題が残りました。普段なかなか外でのびのびと遊べない環境下で、キッズふくしまでのびのびと思いきり遊べる環境は子ども達にとって貴重だと思います。しかし、遊んでいると体調変化に気付きにくくなります。そんな時に私たち看護大生がこれからは必要だと思えました。子ども達と思いきり遊べるように、キッズふくしまのボランティアを後輩に引き継ぎたいです。

## スタッフ募集!

※ お問い合わせは事務局まで

実行委員会では随時スタッフを募集しています。

～池の平会場において～

- ① 全日程通じての参加
- ② 短時間での参加
- ③ 食事の準備、片付け
- ④ 子どもたちと遊びたい人
- ⑤ 現地への送迎

～ホームステイにおいて～

- ① ホームステイの受け入れ
- ② 食事のみの提供 (そば打ち、餃子、BBQなど)
- ③ 催し物や行事の提供 (お講、子供会、陶芸教室、各種スポーツなど)
- ④ 資金の援助
- ⑤ 移動の送迎サポート



よろしくお願ひします!

# 合同で海水浴& バーベキュー

# ホームステイ

後半（七月三十一日から八月三日の三泊四日）は各寺院でのホームステイです。今年の夏もそれぞれのステイ先の特性を活かして楽しんでもらおうと趣向を凝らしました。

短い期間ではありましたが、たくさんさんの経験と思い出を作り、心も体もリフレッシュして福島に戻つてくれたことと思います。また、受け入れをして下さった寺院の皆さん、そして様々な形で協力して下さった皆さんも、元気をたくさんもらうことができました。



## キッズふくしまにお力添えいただきありがとうございます

「キッズふくしま」とは福島第一原発事故を機に始まった、福島県の子どもたちのための保養活動です。現地の声には、「個人宅の放射能除染が行き渡っていない」、「遊び場である公園に連れて行ったり、遊ばせたりする事が不安」などという声が聞かれます。また子どもたちからも「普段遊んでいた空き地は数値高いから遊べない」、「山に入っちゃいけないって言われた」等、大人は不安からのストレスに、子どもたちは遊び場を失うストレスに悩まされる日々が未だに続いています。

「キッズふくしま」は、大人たちが便利という言葉にごまかされて思考を止め、本当の安全を追及して来なかった事や、原発事故、放射能汚染等の負のバトン子どもたちに渡さなければならない事に対する「ごめんなさいから始める」活動です。子供たちが感じているストレスの軽減と、受けている内部被ばくの減少を目的として、たとえ一週間という短い期間でも汚染されていない地域で過ごし、思い切り遊んでもらいたいと思っています。ご理解の程宜しくお願い致します。

### 皆様からのご寄附をお願いします

#### - 郵便局からの振込 -

口座記号番号（ゆうちょ銀行）

00500-1-101787

口座名 キッズふくしま たかだ

#### - 他金融機関からの振込 -

店番 059（ゆうちょ銀行）

口座名 キッズふくしま たかだ

預金種目 当座

口座番号 0101787



# 合同で 新しい水族館へ



## ステイ先の 様子①



## 楽しかった新潟

いわき市 小学四年生

木村 昌剛さん

ぼくは、キッズふくしまインたかだに来たのは四回目で、来たことはあつたけど楽しかったです。水遊びはあまり家ではできないのでとても楽しかったです。オリエンテーリングでは、たくさん歩いてよく周りの地域のこと分かりました。まんげつ先生のお話しゃ、マジックショーなども楽しかったです。それに他の友達もできて楽しかったです。

ホームステイは、プールに行ったりおいしいものを食べられたから、すごく楽しかったです。

今度の春も新潟に来たいです。とても楽しかったです。夏休みの思い出になりました。





# ステイ先の様子②



# ステイ先の様子③



# ステイ先の様子④



# ススキでバツタ 小鳥の木工細工制作



## サマーキャンプに高田に参加して

福島市 小学六年生

茂木 智史さん

僕は初めてキッズふくしまに参加しました。最初は、ちゃんと自分のことは自分でできるか心配していました。家族と一週間も離れることも初めてだったので、ドキドキしていました。福島駅集合の時、参加する人たちがいて、僕よりも小さい学年の人がたくさんいました。六年生の僕がしっかりしなくちゃ、だなと思いました。

池の平青少年センターでは、普段できない弓遊びや、流しそうめんの体験ができて、夏休みのとても良い思い出になりました。この頃には、僕の緊張もなくなっていて、自然と友達ができていました。ホームステイ先の圓照寺でも福島ではできない海水浴ができて、魚を捕まえたり砂に埋めてもらったりして思いっきり楽しめました。また、バーベキューや海の家で冷やした中華を食べたのが最高でした。

あつという間に一週間が過ぎてしまいました。センターや、ホームステイでも仲良くなった友達と別れるのもとても寂しかったです。またチャンスがあったら参加したいです。お世話になった皆さん本当にありがとうございました。

## 会計報告

キッズふくしまでは、教区御遠忌期間中や各団体の行事などで募金活動を行っており、現在の通帳残高は1,123,152円となっています。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

この募金はキッズふくしま実行委員会が管理をして、必要があれば実行委員会の決済を経て、キッズふくしま関連事業への補助を行います。

今後も高田、新井両別院報恩講や各種行事において募金活動を行う予定です。引き続きご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

## ネットで公開しています

これまでの「キッズふくしまインたかだ」の取り組み、今後の予定などを、たくさんの写真と共に随時アップしています。ぜひアクセスしてみてください。

なお、この広報誌はホームページにPDFデータでカラーアップされていますので、印刷してご利用ください。

ホームページ

<https://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>

Facebook

<https://www.facebook.com/kidsfukushima/>

Twitter

<https://www.twitter.com/kidsfukushima/>